

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)~(8)は必ず記入してください。(9)~(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	宮崎支部	(2) 記載者氏名:	内山 憲一	会員番号:	13989	事務局整理記入欄	宮崎 - 29
分水嶺区分	田尻 ~ K252 ~ K253佐多岬	(3) 山行日:	2004年	12月	11日	(4) 天候	快晴

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

内山 憲一	13989	恒吉 克範	13831				
児島 実照	9691						
松元 正明	13093						
多田 周廣	13780						
		計	5名			計	名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	田尻から尾根に取り付き、ピークを三つ越えて展望台経由佐多岬。沢を下って佐多岬の海岸に行き、海岸を田尻に戻る。												
アプローチ:	車で鹿児島から垂水に渡り伊座敷、大泊経由田尻。												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)~(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	田尻	佐多岬	130	40	14.1	31	0	33.8		9:25			
分水嶺到達点	田尻	佐多岬	130	39	58.1	31	0	44.7	25	9:35	9:40	A-1	
K252	192mP	佐多岬	130	39	46.9	31	0	28.0	193	10:15	10:23	B-3	
	180mP	佐多岬								10:43	11:10	B-2	
	御崎山214mP	佐多岬	130	39	34.2	31	0	7.0	214	11:39	11:45	B-3	
	展望台	佐多岬								12:30	12:55	B-3	
	佐多岬	佐多岬	130	39	37.7	30	59	40.7	46	13:19	13:50	B-3	崖上
K253	佐多岬	佐多岬	130	39	36.2	30	59	39.1	2	14:12	14:25	B-1	磯
歩行終了点	田尻	佐多岬	130	40	14.1	31	0	33.8	3	16:06		B-1	
												総歩行時間(休憩時間を除く):	5時間30分

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
K252	192mP	3		良好	

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

本土最南端の山である「御崎山(みさきやま)」の最高点は、214mPの東約150mの場所。後日ここを訪れると手彫りの三角点標石が立っていた。この山は太平洋戦争で軍事的に利用されたらしく、人工的に土を掘った跡も見られる。また岬の先端の石積みは砲台跡である。

(9) 水および植生に関連した特記事項

御崎山一帯はソテツの群生地もあり、天然記念物となっている。
低山ながら降雨量が多いせいか、沢の上部まで水が流れている様子。

(10) その他の特記事項

田尻から佐多岬の間には自動車専用の「佐多岬ロードパーク」以外の道路はない。
徒歩または自転車佐多岬を目指すには、山越えか太平洋側の海岸を歩くしかない。
展望台から岬の先端までは藪になっている。神社前から沢を下って途中から右へ進むと電線保守用の道があり比較的楽に岬に行ける。
沢を海岸まで下りて右に進むと対岸に大輪島を望む本土最南端の磯に立つことが出来る。左へ進むと田尻集落。

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:佐多岬から対岸の大輪島を望む

山行報告書(続き)

表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。

2002年9月山川町の長崎鼻から単独で錦江湾の分水嶺を歩き始め、延べ47日かけこの日に無事踏破することができました。最終の行程は日本山岳会宮崎支部のメンバー4名も同行され、岬で宮崎綾のワインと支部長直筆の横断幕で祝っていただきました。またこの日は地元地方紙の南日本新聞記者が展望台で合流して取材を受け、後日写真と記事が掲載されました。



佐多岬から対岸の大輪島を望む